

第26回KPC定期調査

～ 調査結果 ～

- ・調査対象： 労使学の運営幹部276名
(正副会長、評議員会正副議長、委員、当本部に關係する学識経験者)
- ・調査方法： 上記対象者あて調査票郵送
- ・調査時期： 2013年11月中旬から約1ヶ月
- ・回答状況：

分類	回答数
経営幹部	105名
労働組合幹部	45名
学識経験者	56名
合計	206名

回答率：74.6%

景気・経済 (問1~4参照)

【景気】「改善する」が第1位

今後1年の日本の景気については、全体で62%が「改善する」と回答、経営・労組・学識3者ともに1位。前年27%の回答があった「悪化する」は全体で6%となり、昨年と比べて景況感は大きく改善した。

【株価】15,000円台が半数

4月1日時点の株価は、約5割が15,000円台の予想(前年度は68%が9,000円台と予想)。また、全体の28%が16,000円以上を予想。

【為替相場】1位は1ドル=100円台前半

4月1日時点の円ドル為替レートは、「1ドル=100円以上~105円未満」が1位(55%)、「1ドル=95円以上~100円未満」が2位。

【妥当な為替相場】1ドル=100円以上~105円未満

企業活動にとって妥当な相場は、「1ドル=100円以上~105円未満」が44%で最も多く、「1ドル=95円以上~100円未満」が続く。現在の為替相場が妥当と考えられている。

雇用 (問5参照)

【完全失業率】「改善する」が過半数—景気拡大への期待感が高い

今後1年の完全失業率推移は、「改善する」が56%と最も多く、昨年25%の「悪化する」は5%に減少、景気拡大の期待感が高い。

企業経営 (問6~7参照)

【企業の重点課題】1位は「人材の育成」、2位は「利益の維持・拡大方策」

現在の企業における重点課題は、「人材の育成」が71%で1位と、労使学三者の共通認識。「利益の維持・拡大方策」が2位(52%)で前年と上位2位の順位は変わらず。「女性の積極雇用」は労組・学識で2位で、全体でも「新規事業の推進・強化」と同率で3位(39%)となった。

【有望海外投資先】1位ベトナム、インドとインドネシアが同率2位

今後の有望海外投資先の1位はベトナム(45%)、昨年まで8年連続で1位であったインドはインドネシアと同率(38%)で2位に。中国は8%(前々回の38%、前回の12%)と、9位に後退。ミャンマー(34%)は4位につけ、当地成長の期待の高さがうかがえる。

アベノミクスに対する評価と期待 (問8~10参照)

【アベノミクスの評価】「ある程度評価する」が1位

アベノミクス政策の現時点で評価としては、労使学いずれも「ある程度評価する」が1位(全体で65%)。経営・学識では「かなり評価する」が2位、労組では「あまり評価できない」が2位。

【成長目標の実現可能性】

【インフレ率2%達成】

「デフレは解消されるが、当分は目標に及ばない」が1位、「やや遅れるが2%が実現される」が2位。

【名目GDP3%程度、実質成長率2%程度の実現】

全体で71%が「高い目標で、実現には困難を伴うが、可能な範囲である」と回答。経営・学識では、「十分実現可能な目標である」が2位、労組では「目標実現は不可能である」が2位。

【一人当たり名目国民総所得(GNI)150万円以上アップ】

全体では、「高い目標で、実現には困難を伴うが、可能な範囲である」が1位(53%)に。労組では、「目標実現は不可能である」が1位(57%)となった。

【日本経済の強靱化方策】「TPP」と「法人税減税」と「賃上げ促進」が日本経済の強靱化には有効

日本経済が、より強靱になるための有力な方策としては、「TPPへの積極的な参加」が1位(51%)、「法人税の減税・優遇」が2位(41%)、「賃金引き上げの促進」が3位(27%)。

他の項目としては、経営では「安全が確認された原発への早期再稼働」が3位(26%)。労組では「総合的な子育て支援」が2位(36%)、学識では「行政のムダの徹底排除」が2位(33%)に入った。

労働組合 (問11参照)

【労働組合活性化】重点項目は「組合リーダーの能力向上」と「組合員の能力・キャリア形成への支援」

労働組合活性化の重点項目としては、前年までの「組合リーダーの能力向上」に加え、「組合員の能力・キャリア形成への支援」が同率(36%)で1位。3位は「組合員の意見集約・組織統制力」(27%)。

労組では③「組合員との対話・相談活動」が2位(40%)。また⑤「パート・アルバイトも含めた組合組織率の向上」は労組で3位(36%)、学識で2位(34%)。

景気・経済

<景気：「改善する」が第1位>

問1： 今後1年の日本の景気の推移をどのようにお考えですか。以下から1つお選びください。

- ① 大きく改善する
- ② 改善する
- ③ 現在と同水準になる
- ④ 悪化する
- ⑤ 大きく悪化する
- ⑥ その他

経営	労組	学識	全体	前回	前々回
4%	0%	4%	3%	0%	0%
67%	47%	62%	62%	23%	25%
26%	42%	23%	29%	48%	44%
3%	9%	11%	6%	27%	30%
0%	0%	0%	0%	0%	1%
0%	2%	0%	0%	2%	0%

←1位
←2位
←3位

- 全体では、②「改善する」の回答が62%。経営・労組・学識3者ともに1位。
- 昨年、27%の回答があった③「悪化する」は全体で6%となり、昨年に比べて景況感は大きく改善。

<株価：15,000円台が半数>

問2： 11月中旬時点の日経平均株価は15,100円台となっております。2014年4月1日時点の株価はどの程度になるとお考えですか。以下から1つお選びください。

- 7,000円未満
- 7,000円以上～7,500円未満
- 7,500円以上～8,000円未満
- 8,000円以上～8,500円未満
- 8,500円以上～9,000円未満
- 9,000円以上～9,500円未満
- 9,500円以上～10,000円未満
- 10,000円以上～10,500円未満
- 10,500円以上～11,000円未満
- 11,000円以上
- ① 13,000円未満
- ② 13,000円以上～13,500円未満
- ③ 13,500円以上～14,000円未満
- ④ 14,000円以上～14,500円未満
- ⑤ 14,500円以上～15,000円未満
- ⑥ 15,000円以上～15,500円未満
- ⑦ 15,500円以上～16,000円未満
- ⑧ 16,000円以上～16,500円未満
- ⑨ 16,500円以上～17,000円未満
- ⑩ 17,000円以上
- ⑪ その他

経営	労組	学識	全体	前回	前々回
				0%	0%
				1%	5%
				1%	12%
				4%	30%
				20%	33%
				35%	15%
				25%	4%
				9%	1%
				3%	0%
				1%	0%
0%	2%	0%	1%		
0%	2%	0%	1%		
1%	7%	2%	3%		
4%	11%	9%	7%		
10%	16%	16%	13%		
25%	29%	21%	25%	0%	0%
31%	11%	25%	24%		
24%	20%	20%	22%		
3%	0%	4%	3%		
2%	2%	4%	3%		
0%	0%	0%	0%	1%	0%

←1位
←2位
←3位

- 全体では、⑥「15,000円以上～15,500円未満」が1位(25%)、⑦「15,500円以上～16,000円未満」が2位(24%)と、約5割が15,000円台を予想(前年度は68%が9,000円台と予想)。
- 全体の28%が16,000円以上を予想。

<為替相場：1位は1ドル＝100円台前半>

問3： 11月中旬時点の円ドル為替レートは100円台となっております。2014年4月1日時点の円相場の推移をどのようにお考えですか。以下から1つお選びください。

- 1ドル＝60円未満
- 1ドル＝60円以上～65円未満
- 1ドル＝65円以上～70円未満
- 1ドル＝70円以上～75円未満
- 1ドル＝75円以上～80円未満
- ① 1ドル＝85円未満
- ② 1ドル＝85円以上～90円未満
- ③ 1ドル＝90円以上～95円未満
- ④ 1ドル＝95円以上～100円未満
- ⑤ 1ドル＝100円以上～105円未満
- ⑥ 1ドル＝105円以上～110円未満
- ⑦ 1ドル＝110円以上～115円未満
- ⑧ 1ドル＝115円以上～120円未満
- ⑨ 1ドル＝120円以上
- ⑩ その他

経営	労組	学識	全体	前回	前々回
					0%
				0%	1%
				0%	3%
				0%	23%
				9%	56%
				58%	15%
				30%	2%
				2%	
				1%	
29%	27%	25%	27%		
61%	58%	41%	55%		
8%	7%	23%	12%		
0%	0%	2%	1%		
0%	0%	0%	0%		
0%	0%	0%	0%		
0%	0%	0%	0%		
0%	0%	0%	0%	0%	0%

←2位
←1位
←3位

- 全体では、⑤「1ドル＝100円以上～105円未満」が1位(55%)、④「1ドル＝95円以上～100円未満」が2位(27%)。

«「景気・経済」は：次項に続く»

< 妥当な為替相場：1ドル＝100円以上～105円未満 >

問4： 日本経済にとって妥当な相場はどの程度であるとお考えですか。以下から1つお選びください。

- 1ドル＝60円未満
- 1ドル＝60円以上～65円未満
- 1ドル＝65円以上～70円未満
- 1ドル＝70円以上～75円未満
- 1ドル＝75円以上～80円未満
- ① 1ドル＝85円未満
- ② 1ドル＝85円以上～90円未満
- ③ 1ドル＝90円以上～95円未満
- ④ 1ドル＝95円以上～100円未満
- ⑤ 1ドル＝100円以上～105円未満
- ⑥ 1ドル＝105円以上～110円未満
- ⑦ 1ドル＝110円以上～115円未満
- ⑧ 1ドル＝115円以上～120円未満
- ⑨ 1ドル＝120円以上
- ⑩ その他

経営	労組	学識	全体	前回	前々回
				0%	0%
				0%	2%
				2%	1%
				6%	16%
				18%	24%
				28%	21%
				29%	23%
				13%	
				4%	12%
				0%	1%
0%	2%	0%	1%		
1%	2%	5%	2%		
1%	7%	11%	5%		
28%	29%	19%	26%		
45%	44%	41%	44%		
13%	4%	13%	11%		
7%	11%	9%	9%		
1%	0%	2%	1%		
2%	0%	0%	1%		
2%	0%	0%	1%		

- 全体では、⑤「1ドル＝100円以上～105円未満」が1位(44%)、④「1ドル＝95円以上～100円未満」が2位(26%)。
- 現在の為替相場が妥当と考えられている。

雇用

< 完全失業率：「改善する」が過半数— 景気拡大への期待感が高い >

問5： 総務省が10月末に発表した労働力調査によると、9月の完全失業率(季節調整値)は4.0%です。今後1年の推移をどのようにお考えですか。以下から1つお選びください。

- ① 大幅に改善する
- ② 改善する
- ③ 現在と同水準になる
- ④ 悪化する
- ⑤ 大幅に悪化する
- ⑥ その他

経営	労組	学識	全体	前回	前々回
0%	0%	0%	0%	0%	1%
64%	44%	52%	56%	12%	13%
34%	47%	39%	39%	63%	55%
2%	9%	9%	5%	25%	30%
0%	0%	0%	0%	0%	1%
0%	0%	0%	0%	0%	0%

- 全体では②「改善する」が1位(56%)、③「現在と同水準になる」が2位(39%)。
- 労組では、③「現在と同水準になる」が1位(47%)、②「改善する」が2位(44%)。
- ④「悪化する」は昨年の25%から5%に減少し、景気拡大の期待感が高い。

企業経営

＜企業の重点課題：1位は「人材の育成」、2位は「利益の維持・拡大方策」＞

問6： 現在の企業経営における重点課題は何であるとお考えですか。以下から5つ以内でお選びください。

- ① M&A、合弁、戦略的提携の推進
- ② 売上の維持・拡大方策
- ③ 利益の維持・拡大方策
- ④ 連結対象子会社の強化
- ⑤ 生産体制の見直し
- ⑥ 新規事業の推進・強化
- ⑦ 内部統制の整備・構築
- ⑧ 人件費削減
- ⑨ 環境問題への積極的取り組み
- ⑩ 組織のフラット化、スリム化
- ⑪ 海外への事業展開
- ⑫ 人材の育成
- ⑬ ITの活用
- ⑭ 原材料・部品調達体制の見直し
- ⑮ 流通・物流経路の再編
- ⑯ 資金運用の効率化
- ⑰ ホワイトカラーの生産性向上
- ⑱ 危機管理体制の構築
- ⑲ CSR・コンプライアンス経営の推進
- ⑳ 技能の継承
- ㉑ 女性の積極雇用
- ㉒ 高齢者の積極雇用
- ㉓ 外国人の積極雇用
- ㉔ 電力・エネルギー問題
- ㉕ ワーク・ライフ・バランスの推進
- ㉖ その他

	経営	労組	学識	全体		前回	前々回
	25%	16%	13%	20%		27%	27%
	37%	16%	7%	24%		27%	22%
	66%	43%	34%	52%	←2位	45%	50%
	9%	5%	4%	6%		6%	3%
	12%	11%	7%	11%		17%	19%
	43%	30%	38%	39%	←3位	42%	35%
	7%	7%	4%	6%		5%	9%
	6%	2%	2%	4%		6%	5%
	9%	9%	18%	11%		11%	19%
	3%	7%	5%	4%		10%	6%
	43%	9%	48%	37%		42%	52%
	70%	77%	66%	71%	←1位	71%	68%
	9%	5%	7%	7%		8%	10%
	9%	11%	7%	9%		7%	13%
	2%	2%	5%	3%		4%	4%
	1%	5%	5%	3%		4%	4%
	13%	18%	21%	17%		17%	17%
	6%	18%	9%	9%		11%	13%
	20%	32%	20%	22%		13%	19%
	11%	30%	25%	19%		20%	18%
	29%	52%	46%	39%	←3位		
	10%	16%	16%	13%		24%	26%
	4%	0%	13%	5%			
	13%	18%	27%	18%		29%	21%
	6%	30%	20%	15%		11%	—
	5%	2%	5%	4%		4%	4%

- ⑫「人材の育成」が71%で1位、労使学3者の共通認識。③「利益の維持・拡大方策」が2位(52%)と上位2つの順位は変わらず。
- ○「女性の積極雇用」は、労組(52%)・学識(46%)で2位となり、全体でも⑥「新規事業の推進・強化」と同率で3位(39%)となった。

＜有望海外投資先：1位ベトナム、インドとインドネシアが同率2位＞

問7： 今後の日本にとって、海外投資先としてどの国(地域)が有望とお考えですか。以下から3つ以内でお選びください。

- ① 中国
- ② 台湾
- ③ 韓国
- ④ タイ
- ⑤ マレーシア
- ⑥ シンガポール
- ⑦ ベトナム
- ⑧ ミャンマー
- ⑨ インド
- ⑩ インドネシア
- ⑪ フィリピン
- ⑫ オーストラリア
- ⑬ ニュージーランド
- ⑭ 米国
- ⑮ カナダ
- ⑯ ロシア
- ⑰ ブラジル
- ⑱ トルコ
- ⑲ EU諸国
- ⑳ アフリカ諸国
- ㉑ その他アジア諸国
- ㉒ その他中東諸国
- ㉓ その他中・南米諸国
- ㉔ その他

	経営	労組	学識	全体		前回	前々回
	12%	4%	4%	8%		12%	38%
	2%	7%	4%	3%		3%	4%
	0%	0%	2%	0%		1%	2%
	26%	27%	26%	26%		23%	10%
	6%	2%	11%	6%		10%	10%
	7%	11%	0%	6%		4%	2%
	38%	58%	47%	45%	←1位	52%	48%
	29%	38%	43%	34%	←4位	32%	—
	46%	29%	32%	38%	←2位	54%	66%
	44%	24%	38%	38%	←2位	38%	31%
	5%	18%	6%	8%		2%	2%
	0%	4%	2%	1%		3%	3%
	0%	2%	0%	0%		0%	1%
	8%	2%	4%	5%		5%	5%
	0%	0%	2%	0%		0%	1%
	4%	16%	13%	9%		2%	6%
	11%	13%	13%	12%		14%	24%
	4%	9%	11%	7%		6%	1%
	0%	0%	6%	1%		1%	2%
	12%	9%	9%	11%		6%	7%
	4%	2%	8%	4%		2%	7%
	8%	2%	4%	5%		1%	2%
	0%	2%	0%	0%		3%	0%
	6%	2%	0%	3%		1%	2%

- 1位はベトナム(45%)、昨年まで8年連続で1位であったインドはインドネシアと同率(38%)で2位に。
- 中国は8%と(前回の12%、前々回の38%)、9位圏に後退。ミャンマー(34%)は4位につけ、当地成長の期待の高さがうかがえる。

アベノミクスに対する評価と期待

＜アベノミクスの評価：「ある程度評価する」が1位＞

問8： 安倍政権の樹立から1年が経過しましたが、その間進められたアベノミクス政策を、現時点でどの程度評価しますか。お考えに近いものを1つお選びください。

- ① かなり評価する
- ② ある程度評価する
- ③ あまり評価できない
- ④ まったく評価できない
- ⑤ その他

経営	労組	学識	全体	
28%	2%	18%	19%	←2位
70%	56%	61%	65%	←1位
1%	31%	18%	12%	←3位
1%	9%	3%	3%	
0%	2%	0%	1%	

- 労使学いずれも②「ある程度評価する」が1位(65%)。
- 経営・学識では①「かなり評価する」が2位、労組では③「あまり評価できない」が2位。

＜成長目標の実現可能性：インフレ率2%達成＞

問9-1： アベノミクスでは、長期デフレから脱却するとともに、以下の成長項目の実現を掲げていますが、お考えに近いものをそれぞれ1つお選びください。

[2年間で、インフレ率2%達成]

- ① 当初の想定通り、2年間で2%が実現される
- ② やや遅れるが2%が実現される
- ③ 2年以内とは限らないが、目標を超えるインフレがもたらされる
- ④ デフレは解消されるが、当分は目標に及ばない
- ⑤ 当分はデフレのままである
- ⑥ その他

経営	労組	学識	全体	
10%	2%	21%	11%	
37%	16%	23%	28%	←2位
18%	22%	11%	17%	←3位
34%	51%	38%	39%	←1位
0%	9%	5%	4%	
1%	0%	2%	1%	

- 全体では、④「デフレは解消されるが、当分は目標に及ばない」が1位(39%)、②「やや遅れるが2%が実現される」が2位(28%)。

＜成長目標の実現可能性：名目GDP3%程度、実質成長率2%程度の実現＞

問9-2： アベノミクスでは、長期デフレから脱却するとともに、以下の成長項目の実現を掲げていますが、お考えに近いものをそれぞれ1つお選びください。

[今後10年間の平均で名目GDP率3%程度、実質成長率2%程度の実現]

- ① 十分実現可能な目標である
- ② 高い目標で、実現には困難を伴うが、可能な範囲である
- ③ 目標実現は不可能である
- ④ その他

経営	労組	学識	全体	
10%	2%	18%	11%	←3位
81%	58%	62%	71%	←1位
5%	36%	16%	15%	←2位
4%	4%	4%	4%	

- 全体では、②「高い目標で、実現には困難を伴うが、可能な範囲である」が1位(71%)。
- 経営・学識では、①「十分実現可能な目標である」が2位、労組では③「目標実現は不可能である」が2位。

＜成長目標の実現可能性：一人当たり名目国民総所得(GNI)150万円以上アップ＞

問9-3： アベノミクスでは、長期デフレから脱却するとともに、以下の成長項目の実現を掲げていますが、お考えに近いものをそれぞれ1つお選びください。

[10年後に、一人当たり名目国民総所得(GNI)150万円以上アップ]

- ① 十分実現可能な目標である
- ② 高い目標で、実現には困難を伴うが、可能な範囲である
- ③ 目標実現は不可能である
- ④ その他

経営	労組	学識	全体	
2%	5%	9%	4%	
63%	36%	48%	53%	←1位
31%	57%	38%	39%	←2位
4%	2%	5%	4%	

- 全体では、②「高い目標で、実現には困難を伴うが、可能な範囲である」が1位(53%)。
- 労組では、③「目標実現は不可能である」が1位(57%)。

≪「アベノミクスに対する評価と期待」は：次項に続く≫

<日本経済の強靭化方策：「TPP」と「法人税減税」と「賃上げ促進」が日本経済の強靭化には有効>

問10: 日本経済が、より強靭になるためには、何が有力な方策と思われますか。近いものを以下から3つ以内でお選びください。

- ① TPPへの積極的な参加
- ② 法人税の減税・優遇
- ③ 消費税10%引き上げ時期の延期
- ④ 中国・韓国との関係の早期改善
- ⑤ 安全が確認された原発への早期再稼働
- ⑥ 社会保障費の抑制
- ⑦ グレーゾーン解消制度による企業の新規事業参入支援
- ⑧ 賃金引き上げの促進
- ⑨ 震災復興施策の強力な推進
- ⑩ 国家戦略特区の設置
- ⑪ 行政のムダの徹底排除
- ⑫ 総合的な子育て支援
- ⑬ 一層の金融緩和
- ⑭ 国土強靭化計画による公共投資の拡大
- ⑮ その他

経営	労組	学識	全体	
63%	29%	45%	51%	←1位
60%	16%	25%	41%	←2位
4%	9%	4%	5%	
10%	20%	20%	15%	
26%	20%	7%	20%	
24%	20%	18%	21%	
8%	4%	7%	7%	
9%	73%	25%	27%	←3位
5%	16%	24%	12%	
22%	2%	24%	18%	
16%	22%	33%	22%	
11%	36%	20%	19%	
9%	4%	5%	7%	
10%	4%	11%	9%	
5%	2%	13%	6%	

- 全体では、①「TPPへの積極的な参加」が1位(51%)、②「法人税の減税・優遇」が2位(41%)、⑧「賃金引き上げの促進」が3位(27%)。
- 経営では、①「TPPへの積極的な参加」が1位(63%)、②「法人税の減税・優遇」が2位(60%)、⑤「安全が確認された原発への早期再稼働」が3位(26%)。
- 労組では、⑧「賃金引き上げの促進」が1位(73%)、⑫「総合的な子育て支援」が2位(36%)、①「TPPへの積極的な参加」が3位(29%)。
- 学識では、①「TPPへの積極的な参加」が1位(45%)、⑪「行政のムダの徹底排除」が2位(33%)、②「法人税の減税・優遇」と⑧「賃金引き上げの促進」が同率(25%)で3位。

労働組合

＜労働組合活性化：重点項目は「組合リーダーの能力向上」と「組合員の能力・キャリア形成への支援」＞

問11： 今後の労働組合の活性化において特に重要な項目は何であるとお考えですか。以下から3つ以内でお選びください。

- ① 組合員の能力・キャリア形成への支援
- ② 組合員の生活設計への支援
- ③ 組合員との対話・相談活動
- ④ 組合員のメンタルヘルス支援
- ⑤ パート・アルバイトも含めた組合組織率の向上
- ⑥ 経営をチェックする機能
- ⑦ 経営情報の伝達
- ⑧ 経営に関する現状分析・課題解決の提案
- ⑨ ボランティア等の参加を通じた地域貢献
- ⑩ 組合リーダーの能力向上
- ⑪ 組織運営の効率化・簡素化
- ⑫ 組織運営の情報開示による透明度向上
- ⑬ 生涯人生の支援
- ⑭ 労使協議制の充実
- ⑮ 組合員の意見集約・組織統制力
- ⑯ 労働に対する意識高揚
- ⑰ 個人の組合員としての意識高揚
- ⑱ その他

	経営	労組	学識	全体		前回	前々回
①	40%	22%	41%	36%	←1位	32%	28%
②	6%	9%	20%	10%		11%	14%
③	23%	40%	5%	22%		26%	23%
④	6%	2%	21%	9%		14%	12%
⑤	9%	36%	34%	22%		16%	21%
⑥	19%	27%	16%	20%		24%	21%
⑦	14%	4%	9%	10%		5%	9%
⑧	25%	16%	13%	20%		18%	20%
⑨	2%	4%	2%	2%		7%	6%
⑩	32%	56%	29%	36%	←1位	33%	40%
⑪	10%	2%	13%	9%		11%	9%
⑫	4%	0%	0%	2%		7%	8%
⑬	6%	9%	18%	10%		9%	10%
⑭	22%	24%	16%	21%		16%	18%
⑮	34%	27%	13%	27%	←3位	25%	25%
⑯	12%	7%	14%	11%		9%	9%
⑰	4%	11%	5%	6%		—	—
⑱	2%	2%	4%	2%		4%	3%

- 全体では、前年までの⑩「組合リーダーの能力向上」に加え、①「組合員の能力・キャリア形成への支援」が同率(36%)で1位。3位は⑮「組合員の意見集約・組織統制力」(27%)。
- 労組では、③「組合員との対話・相談活動」が2位(40%)。
- ⑤「パート・アルバイトも含めた組合組織率の向上」は労組で3位(36%)、学識で2位(34%)。

生産性運動

＜生産性運動の重点項目：労使学でウエイトが異なる生産性運動の重点項目＞

問12： これからの生産性本部の事業展開にあたって、より重点を置くべき項目は何であるとお考えですか。
以下から5つ以内でお選びください。

- ① サービス産業の生産性向上
- ② ホワイトカラーの生産性向上
- ③ 中堅企業の活性化
- ④ 雇用の維持・確保
- ⑤ 男女共同(協働)社会の実現
- ⑥ 高齢者が十分に能力を発揮できる職場環境づくり
- ⑦ 雇用流動化に対応した人事・教育制度の構築
- ⑧ 能力や成果を重視した賃金制度の構築
- ⑨ 企業経営の新しい方向づけ
- ⑩ 経営品質向上活動の普及・推進
- ⑪ 労働組合の新しい方向づけ
- ⑫ 環境・エネルギー問題への対応
- ⑬ 職場のメンタルヘルス向上
- ⑭ 社会的な高コスト構造の是正
- ⑮ 中核人材の育成
- ⑯ 学校や行政の生産性向上
- ⑰ ものづくり力の強化
- ⑱ 従業員のキャリア支援・開発
- ⑲ ワーク・ライフ・バランスの推進
- ⑳ その他

	経営	労組	学識	全体		前回	前々回
	9%	7%	41%	17%		22%	19%
	43%	27%	34%	37%	←1位	27%	26%
	22%	25%	30%	25%		26%	25%
	11%	36%	16%	18%		27%	31%
	30%	41%	16%	29%		22%	17%
	24%	27%	30%	26%		26%	28%
	39%	14%	25%	30%	←3位	25%	27%
	12%	5%	11%	10%		7%	9%
	23%	9%	20%	19%		22%	27%
	27%	9%	18%	20%		16%	19%
	12%	27%	9%	15%		21%	24%
	11%	23%	20%	16%		19%	24%
	14%	23%	25%	19%		19%	19%
	18%	11%	18%	17%		18%	10%
	37%	27%	36%	35%	←2位	32%	30%
	13%	9%	23%	15%		15%	10%
	28%	30%	14%	24%		18%	21%
	19%	23%	13%	18%		19%	17%
	25%	39%	23%	27%		20%	28%
	0%	0%	9%	2%		4%	2%

- 全体では、1位が②「ホワイトカラーの生産性向上」(37%)、2位が⑮「中核人材の育成」(35%)、3位が「雇用流動化に対応した人事・教育制度の構築」(30%)。
- 経営では、②「ホワイトカラーの生産性向上」(43%)が1位、労組では⑤「男女共同(協働)社会の実現」(41%)が1位、学識では①「サービス産業の生産性向上」(41%)が1位と、労使学とその重要度のウエイトが異なっている。

